

看護系学会とUMIN

日時 平成21年1月30日(金) 午後3 - 6時
場所 鉄門記念講堂

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻長

村嶋 幸代

(元、日本看護科学学会理事長)

趣旨

看護学という新しい学問の体系を
例に取り、その発展をUMINが如何に
支えてきたかについて、

日本看護科学学会へのサポート、および、
日本看護系学会協議会へのサポートを
中心に示したい。

- ・看護系大学の増加と看護系学会の発展
- ・日本看護科学学会 (JANS) とUMIN
- ・看護系学会におけるUMINの活用
- ・今後UMINに望みたいこと

- ・看護系大学の増加と看護系学会の発展
- ・日本看護科学学会 (JANS) とUMIN
- ・看護系学会におけるUMINの活用
- ・今後UMINに望みたいこと

看護系大学・修士・博士課程の増加

社会の要請：医療の高度化・社会の複雑化

看護職により高い専門性と高度の知識が必要

看護職の教育機関として4年制大学が重要と認識

看護系大学の急増。近年は、大学院が増加。

看護学の研究者も増えてきている。

年度	1974	1986	1997	2002	2006	2007	2008
学士課程	4	11	51	105	144	157	167
修士課程	2	4	13	54	86	101	109
博士課程	1	2	4	16	36	43	46

図1 看護系大学数の増加

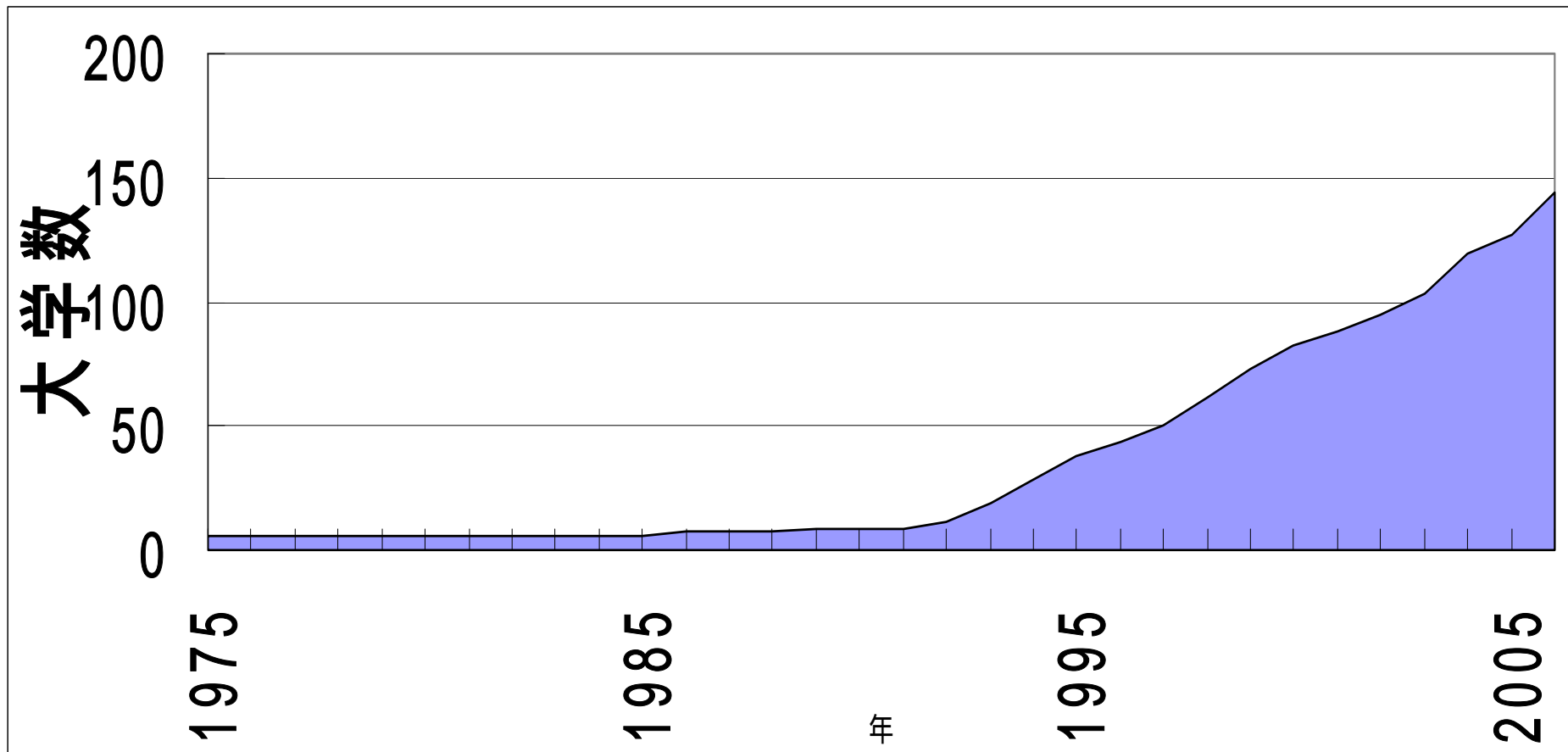
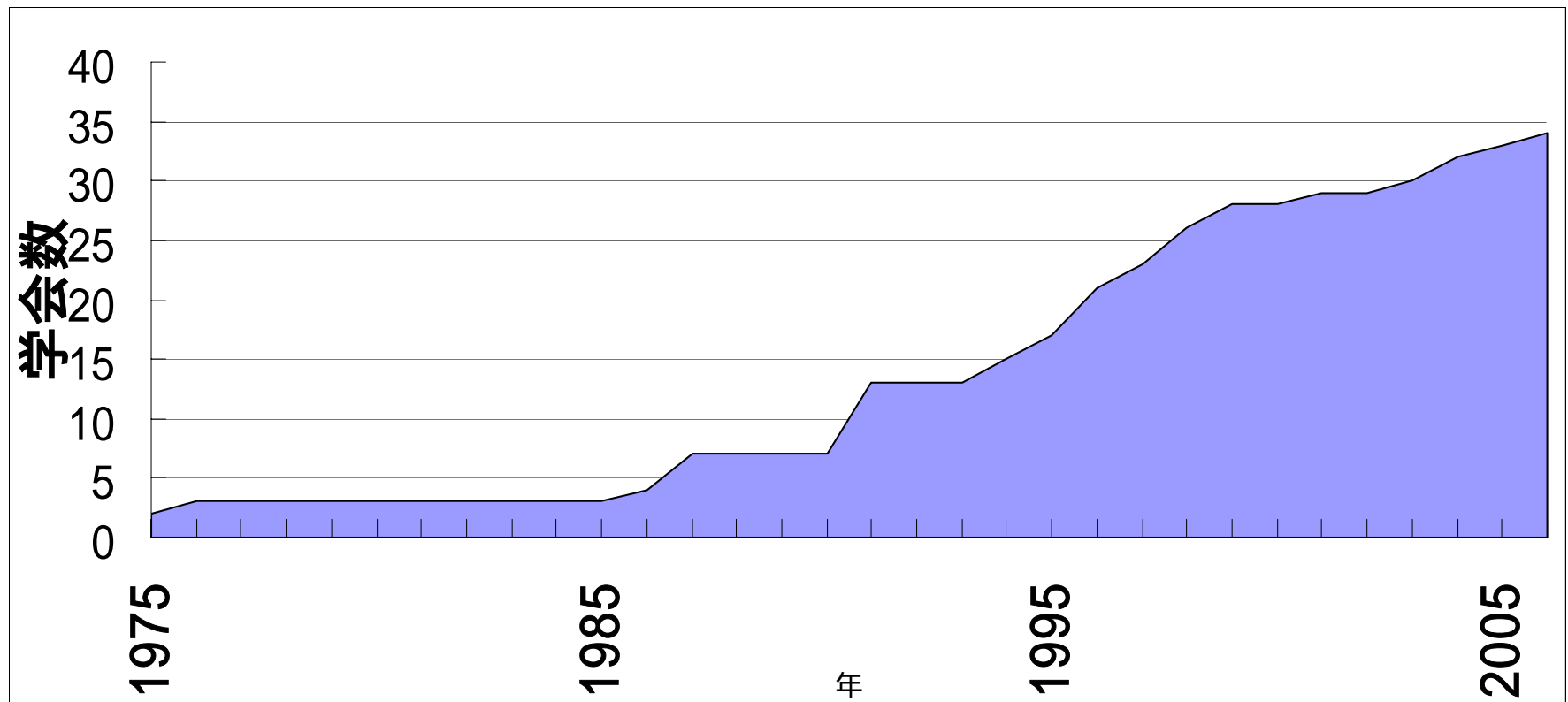
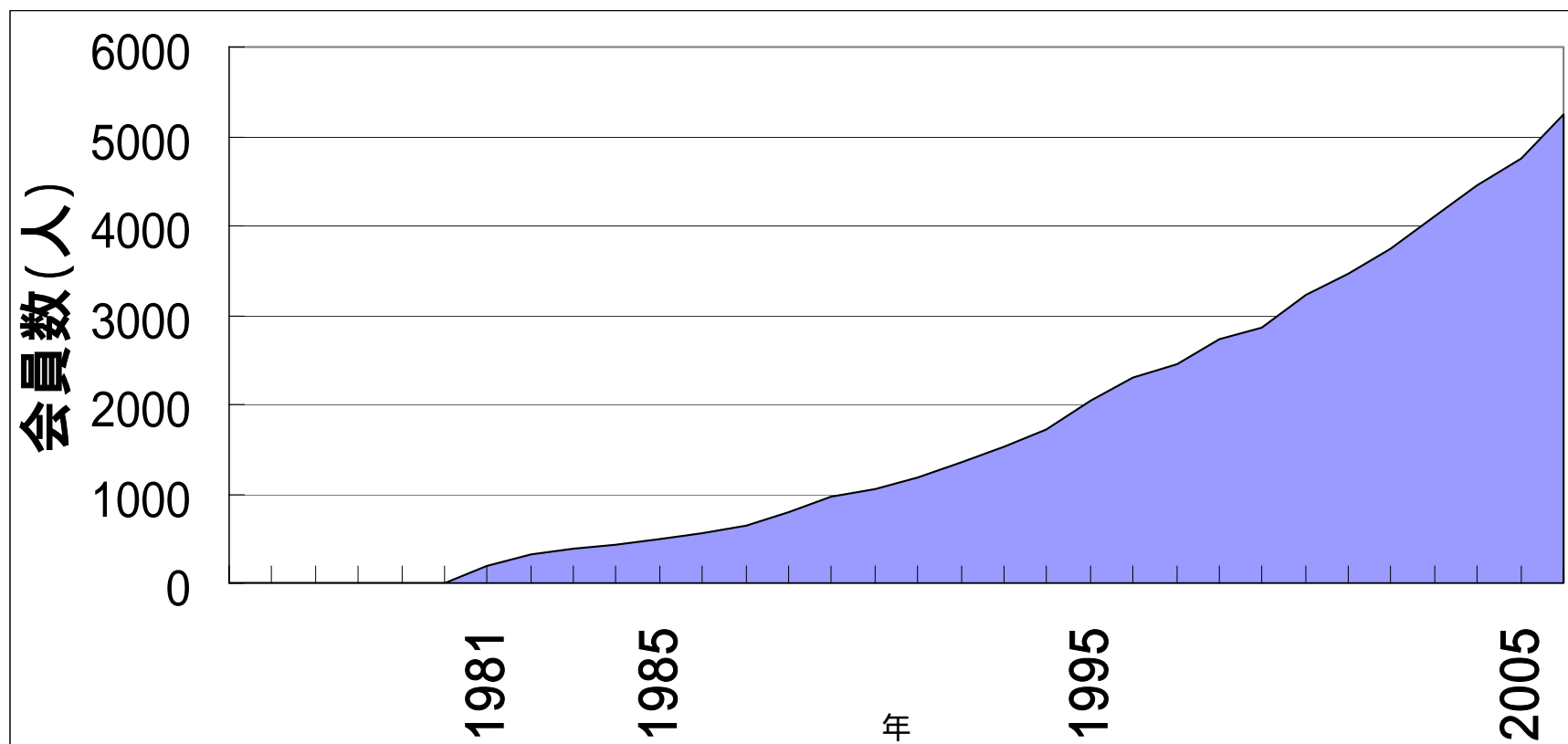


図2 看護系学会の増加



- ・看護系大学の増加と看護系学会の発展
- ・日本看護科学学会 (JANS) とUMIN
- ・看護系学会におけるUMINの活用
- ・今後UMINに望みたいこと

図3 日本看護科学学会会員数の推移





日本看護科学学会の概要

1) 創立経緯・沿革:

- ・ 昭和54年 日本看護系大学協議会で設立準備
- ・ 昭和56年7月25日(1981年) 設立総会
- ・ 事務局
 - 当初、聖路加看護大学
 - 平成5～13年 学会事務センター + 理事長校持回り
 - 平成13年12月 独立事務所設置
- ・ 法人化 平成19年1月 有限責任中間法人
- 平成21年1月 一般社団法人

2) 研究領域: 看護学全般

3) 会員数: 5,592 件 (平成20年9月)

4) ホームページ: <http://plaza.umin.ac.jp/~jans/>

日本看護科学学会の目的と活動

定款第2条

1. **看護学の発展を図る** 看護学の知見を蓄積し、体系化 看護学を通じた科学の創造
2. **広く知識の交流に努める**
看護学の伝達と活用: 会員への情報伝達 + 看護学からの情報発信(国内・国外)
3. **人々の健康と福祉に貢献する**
看護学の成果を用いた社会貢献: 実践で活用するに足る技術に高め、エビデンスに基づく政策提言を通して、社会貢献



日本看護科学学会主要事業 (平成21年)

- ・ 学術集会の開催(年1回)
- ・ 学会誌の発行(年4回) 英文誌の発行(年2回)
- ・ ホームページによる情報提供
- ・ **看護学学術振興対策:**
 - 国際活動推進、看護倫理検討、
看護学学術用語検討、日本学術会議対策、

研究・学術情報活動
- ・ 優秀な研究論文の表彰
- ・ 社会貢献(市民フォーラムの開催等)
- ・ 公益法人化の推進

第28回(2008)日本看護科学学会学術集会 演題カテゴリー

- | | | |
|------------------------|--------------------|---------------------|
| 01.クリティカルケア | 09.母性看護 | 17.看護管理 |
| 02.周手術期看護 | 10.小児看護 | 18.看護情報 |
| 03.慢性看護 | 11.家族看護 | 19.看護理論 |
| 04.がん看護 | 12.リハビリテー
ション看護 | 20.看護教育 |
| 05.精神看護 | 13.看護技術 | 21.感染・リスクマネ
ジメント |
| 06.地域看護
(産業保健・学校保健) | 14.看護倫理 | 22.国際看護 |
| 07.在宅看護 | 15.看護理論・歴史 | 23.その他 |
| 08.高齢者看護 | 16.看護教育 | |

日本看護科学学会 (JANS) 年表 - UMINとの関わりを中心に -

年	主な出来事	UMINとの関わり
1975年10月	看護系6大学から成る「日本看護系大学評議会」の発足	
1981年	第1回学術集会。学会誌第1巻発刊	
1987年9月	日本学術会議に登録される	
1993年1月	会員管理等業務を(財)日本学会事務センターへ委託	
1999年		UMIN上にホームページ開設許可
2000年		学会演題募集にUMINを活用開始
2001年9月	日本看護系学会協議会発足。入会	UMINメールアドレス取得
2002年1月	独立事務所設置。会員管理等、殆どの業務引き取る	
2004年6月 9月	英文誌JJNS創刊 (Blackwell) 学会誌をUMINホームページに掲載。検索可に	全会員にUMINのID発行。 和文誌の全論文が閲覧可能に 英文誌は、UMIN経由でBlackwellの サイトに飛び、論文を読む
2007年1月	有限責任中間法人へ	
2008年12月	一般社団法人へ	和文誌のon-line投稿(UMIN)検討中



日本看護科学学会 (JANS) とUMIN

- (1) UMIN活用の最初: ホームページ開設(1999年)
- (2) メール(2001年8月)と独立事務所開設(2001年)
時の体制サポート
- (3) 学会誌のon-line 論文検索(2004年9月)
- (4) UMIN上の演題募集・査読システム(2000年)
- (5) 学会誌へのon-line投稿も検討中

JANSにおけるUMIN活用例1

- (1) ホームページ開設(1999)、メールアドレス(2001)
選択の理由は中立性・公共性、無料
- (2) 独立事務所開設(2002)、
学会事務センターに委託した事務の引き取り(2002)
UMINにより、基本的なインフラを無料で使える安心感
(財)学会事務センター倒産時、
JANSの損害が軽かった背景には、独立事務所を
サポートしてくれたUMINの存在がある

JANSにおけるUMIN活用例2

(3) オンライン演題登録・査読システム(2000)

(4) 学会誌のUMINホームページ搭載・
論文検索システム(2004)
全会員にUMINのIDを発行
UMINユーザー増加

(5) オンライン投稿の検討(2008)
ELBIS論文査読システム導入に向けてテスト中
査読システムを省力化できると期待

- ・看護系大学の増加と看護系学会の発展
- ・日本看護科学学会 (JANS) とUMIN
- ・看護系学会におけるUMINの活用
- ・今後UMINに望みたいこと

日本看護系学会協議会加入学会(34学会)

総合学会 (2)	分野別学会				大学を基盤 とした 学会(4)
	発達段階別 (4)	疾患・身体 機能別(5)	救急度別 (5)	機能・領域別(14)	
<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護科学学会 ・日本看護研究学会 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本新生児看護学会 ・日本小児看護学会 ・日本母性看護学会 ・日本老年看護学会 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本がん看護学会 ・日本腎不全看護学会 ・日本糖尿病教育・看護学会 ・日本難病看護学会 ・日本循環器看護学会 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本救急看護学会 ・日本手術看護学会 ・日本クリティカルケア看護学会 ・日本慢性看護学会 ・日本災害看護学会 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護技術学会 ・日本看護診断学会 ・日本看護学教育学会 ・日本看護教育学学会 ・日本看護歴史学会 ・日本助産学会 ・日本生殖看護学会 ・日本家族看護学会 ・日本看護管理学会 ・日本地域看護学会 ・日本在宅ケア学会 ・日本精神保健看護学会 ・日本看護福祉学会 ・日本ルーラル・ナースィング学会 	<ul style="list-style-type: none"> ・高知女子大学看護学会 ・聖路加看護学会 ・千葉看護学会 ・日本赤十字看護学会

各学会の特色

総合学会 (2)		<ul style="list-style-type: none"> ・会員数が多い 日本看護科学学会 (5592名) 日本看護研究学会 (5421名) ・学会誌発行数多い(年4～5回)
分野別学会	発達段階別 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数は中規模(700名～1300名) ・学会誌年2回程度発行
	疾患・身体機能別 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数は疾患による(600名～3100名) ・学会誌は年1～3回発行(学会による) ・セミナー、研究助成、E-mail看護研究指導や地方ワークショップを開催している学会も
	救急度別 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数は学会による(最小295名～最大1974名) ・学会誌は年2～3回発行(学会による)
	機能・領域別 (14)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数は800名～1500名程度 例外あり ・学会誌は年2回程度

看護系学会のUMIN活用状況

機能	活用学会数 (34学会中)	%
ホームページ	19	55.9
演題募集	14	41.2
E-mail	6	17.6

UMINからみた看護学の活動

- 看護系のメーリングリスト

UMIN開設中6692件のうち、「看護」がつくのは246件(3.6%)

- 無作為化比較臨床試験の登録システム

全登録数1499件中、看護学の研究者が「実施責任組織」は3件

「在宅虚弱高齢者への予防訪問：老年症候群寝たきり予防閉じこもり予防」

「入院患者の精神的ケアニーズと看護ケアの実態」

「周産期ドメツティック・バイオレンスのスクリーニング方法の有効性：ランダム化比較試験」

UMINは、看護学のエビデンス構築において、UMINは貴重なサポート

cf.日本学術会議看護学分科会提言

「看護職の役割拡大が安全と安心の医療を支える」(2008年8月)

- ・看護系大学の増加と看護系学会の発展
- ・日本看護科学学会 (JANS) とUMIN
- ・看護系学会におけるUMINの活用
- ・UMINへの期待

UMINへの期待

- 公共のインフラとして、現在の機能を維持し、十分に役割を発揮し続けていただくこと
- 時代の変化に伴って必要となる情報サービスの充実
- 研究サポートの充実

看護学という学問の発展に、UMINは欠かせない存在
他の学問分野の発展にとっても、必要不可欠だろう

Thank
You!



UMINありがとう！！

今後の発展と安定的な

運営を心から願っています！

これからも、どうぞよろしく！